

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	国語	科目	現代の国語	学年	1	単位	2
教科書(出版社)	高等学校 標準現代の国語(第一学習社)						
副教材等(出版社)	漢字ボックス(浜島書店)、漢字反復ノート(浜島書店)						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。	自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。	学習課題に沿って積極的に実社会の中から適切な題材を集め、表現の仕方を工夫して書こうとしている。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	- 世界を広げる - 話して伝える	- なぜ本を読むのか - 世界は謎に満ちている - スピーチで自分を伝える - 待遇表現	24
2	- 人間と文化 - 社会と人間 - 話して伝える	- ステレオタイプの落とし穴 「弱いロボット」の誕生 - 話し方の工夫	30
3	- 現代と社会 - 話して伝える - 書いて伝える	- 黄色い花束 - 合意形成のための話し合いを行う - 社会に対する意見文を書く	16

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解しているか。	・ 定期考査	本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組立てや接続についてよく理解し、得られた知識を活用できている。	本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組立てや接続についてある程度理解できている。	本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組立てや接続についての理解に乏しい。
【思考力、判断力、表現力等】 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫しているか。	・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物	内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができている。情報を相互に関係付けながら書き手の意図まで解釈し、構成や論理展開を評価することができている。	内容や構成、論理の展開を一応捉え、要旨を把握することができている。情報を相互に関係付け、内容を理解することができている。	内容や構成、論理の展開を捉えることができていない。情報を関連付けることによる内容の解釈に不十分な点がある。
【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って積極的に実社会の中から適切な題材を集め、表現の仕方を工夫して書こうとしているか。	・ 授業 ・ 提出物	学習課題に沿って積極的に実社会の中から適切な題材を集め、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	学習課題に沿って実社会の中から適切な題材を集め、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	題材集めや表現の仕方に不十分な点がある。

※具体的な評価方法等

- ・ 定期考査の素点
- ・ 小テストの素点
- ・ スピーチ、発表
- ・ プリント等の提出物
- ・ 授業中の態度、発言

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	国語	科目	言語文化	学年	1	単位	2
教科書(出版社)	高等学校 新編 言語文化 (第一学習社)						
副教材等(出版社)	漢字ボックス (浜島書店) 漢字反復ノート (浜島書店)						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との意見の交流を通じて伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	・小説を読む ・古文入門 ・古文に親しむ ・漢文入門	・「よだかの星」宮沢賢治 ・「古文の学習」 ・「なよ竹のかぐや姫」 ・「言語活動 古典から受け継がれる話の由来を調べる」 ・「漢文の学習」 ・「訓読に親しむ (一)」 ・「訓読に親しむ (二)」	24
2	・詩の楽しみ ・小説を読む ・物語を楽しむ ・漢文入門 ・故事成語	・「I was born」吉野弘 ・「羅生門」芥川龍之介 ・『伊勢物語』『筒井筒』 ・「訓読に親しむ (三)」 ・「五十歩百歩」孟子	30
3	・小説を読む ・随筆を読む ・漢詩の鑑賞	・「よろこびの歌」宮下奈都 ・『枕草子』『春は、あけぼの』清少納言 ・「唐詩の世界」 春望(猛浩然)・送元二使安西(王維)	16

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景についてある程度理解を深め、文章の中で使うことができる。	我が国の言語文化に特徴的な語句を学ぶが、それらの文化的背景について理解できておらず、文章の中で正しく使うことができない。
【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。	・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物	作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。	作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方をある程度深め、我が国の言語文化について考えることができる。	作品の内容や多様な解釈への理解ができず、他者との関わりに消極的であり、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができない。
【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物	我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢が薄い。

※具体的な評価方法等

- ・ 授業時における発言や記述内容
- ・ 定期考査の素点
- ・ 授業プリントの完成度

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	公民	科目	公共	学年	1	単位	2
教科書(出版社)	高等学校 公共 (帝国書院)						
副教材等(出版社)	なし						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 第一段階 基本的な知識・技能の定着 ・ 第二段階 標準的な知識・技能の定着 ・ 第三段階 高度な知識・技能の定着	・ 第一段階 正しい日本語での自己の意見の表現 ・ 第二段階 複数の情報からの合理的思考と判断する力 ・ 第三段階 他者との協働により、民主的意見を形成する力	・ 第一段階 学びに対しての前向きな態度の涵養 ・ 第二段階 自ら考えて自己の意見を明確な言語で表明する力 ・ 第三段階 他者との関係性において合理的に行動する人間性の涵養

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	・ 社会の中の私たち ・ 思想から学ぶべきもの ・ 私たちの社会の基本原則	・ 青年期の意義と特徴、ジェンダーについて、世界の宗教について、日本の思想について、日本の伝統と文化について ・ 古代ギリシャの思想、古代中国の思想、近代西洋の思想、現代の思想 ・ 近代立憲主義の原理、日本国憲法、等に生きる権利、自由に生きる権利、人間らしく生きる権利、広がる人権の考え方、人権保障の国際的な広がり	24
2	・ 私たちと法 ・ 私たちと政治 ・ 私たちと経済	・ 社会規範と法、私たちの生活と法、契約の考え方、消費者の権利と責任、司法の役割 ・ 政治と権力、議院内閣制と国会、権力分立と行政の役割、地方自治の役割、政党政治とメディア、選挙制度、国家と国際法、日本の主権と領土、日本の安全保障、国際連合、国際協力と日本の役割 ・ 経済とその考え方、市場のメリットと限界、企業の目的と役割、金融の役割、政府の役割と財政の機能、日本の財政の課題、経済の変動、産業構造の変化と職業選択、雇用と労働	30
3	・ 持続可能な社会の実現に向けて	・ 環境・公害問題、人口問題・少子高齢化問題、南北問題、資源問題	16

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 ・ 基本的・標準的・高度な知識及び技能を身に着けているか	・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物	高度な知識・技能が定着している。	標準的な知識・技能が定着している。	基本的な知識・技能が定着していない。
【思考力、判断力、表現力等】 正しい日本語での意見表明から出発し、他者との協働による民主的な意見を形成できるか	・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物	他者との協働により、民主的意見を形成する力が身についている。	複数の情報からの合理的思考と判断する力が定着している	正しい日本語での自己の意見の表現が出来ない
【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう基本的な態度から出発して、他者との関係性において合理的に行動できるか	・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物	他者との関係性において、合理的に行動する人間性が出てくる。	自ら考えて自己の意見を明確な言語で表明することができる。	学びに対しての前向きな態度が形成されていない。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	数学	科目	数学 I	学年	1	単位	3
教科書(出版社)	最新 数学 I (数研出版)						
副教材等(出版社)	なし						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	1. 数と式 (1)多項式 (2)多項式の加法・減法・乗法 (3)展開の公式 (4)式の展開の工夫 (5)因数分解 (6)いろいろな因数分解 2. 実数 (1)実数 (2)根号を含む式の計算 3. 1次不等式 (1)不等式 (2)不等式の性質 (3)1次不等式の解き方 (4)連立不等式 (5)不等式の利用	1. 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。 2. 中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 3. 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	36
2	1. 2次関数とグラフ (1)関数 (2)関数とグラフ (3) $y = ax^2$ のグラフ (4) $y = ax^2 + q$ のグラフ (5) $y = a(x - p)^2$ のグラフ (6) $y = a(x - p)^2 + q$ のグラフ (7) $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ (8)2次関数の最大・最小 (9)2次関数の決定 2. 2次方程式と2次不等式 (1)2次方程式 (2)2次関数のグラフとx軸の共有点 (3)2次不等式 (4)2次不等式の利用	1. 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 2. 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	45
3	1. 三角比 (1)鋭角の三角比 (2)三角比の利用 (3)三角比の相互関係 (4)三角比の拡張 (5)三角比が与えられたときの角 2. 正弦定理・余弦定理 (1)正弦定理 (2)余弦定理 (3)三角形の面積 (4)図形の計量	1. 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。 2. 図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする力などを培う。	24

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識・技能】	確認テスト 定期考査	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができない。
【思考・判断・表現】	レポート 定期考査	事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができない。
【主体的に学習に取り組む態度】	自己調整課題	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしていない。

※具体的な評価方法等

- ・定期考査、確認テスト、課題レポート、自己調整課題の提出

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	保健体育	科目	体育（１年）	学年	1	単位	3
教科書(出版社)	現代高等保健体育（大修館）						
副教材等(出版社)	現代保健体育ノート（大修館）						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の技能に対する正しい知識を身につけ、効率的な技能を身につける。	練習計画を自ら考え、自己及び仲間の体力・技術に合わせて内容を判断でき、それを仲間に表現できるようにする。	自ら積極的に運動に取り組むことができ、その技能の成り立ちについての興味・関心を持ち、研究していける態度を育んでいく。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	・オリエンテーション ・陸上競技 ・体育祭練習 ・バレーボール	○体育の授業における注意事項の確認 ○短距離走・リレー・持久走等の記録計測 ○学年種目・全員リレー ○基礎練習・ゲーム・実技テスト	36
2	・水泳 ・バスケットボール ・サッカー	○クロール・平泳ぎ・50m記録計測 ○基礎練習・基本的なルールの理解 ○自ら進んで試合・ゲームに参加する。 ○基本的な技術の習得を目指し実技テストを実施する。	45
3	・長距離走 ・球技	○距離は1回の授業につき2.800Mとする。 ○自分のペースを意識させながら走れるように指導する。 ○雨天の場合体育館にて時間を設定して走る。 ○自ら進んで試合・ゲームに参加する。	24

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 ・運動の技能の高さ ・競技、ゲームや技能 に対して知識	実技テスト 学習活動、ゲー ムに取り組む 姿勢の観察	運動に対する高い機 能を身につけてお り、競技・ゲームの ルール等の知識を要 していること。	運動に対する技能、 競技・ゲームのルー ル等の知識を概ね有 していること。	運動に対する技能、 競技、ゲームのルー ル等の知識が不十分 である。
【思考力、判断力、表現力等】 ・練習方法を自ら考え、 その内容を判断し、仲 間に表現しながら学習 できているか。	実技テスト 学習に取り組 む姿勢の観察	練習方法を自ら考 え、その内容を判断 し、仲間に表現しな がら学習できている。	練習方法を自ら考 え、その内容を判断 し、仲間に表現しな がら学習することが 概ねできている。	練習方法を自ら考 え、その内容を判断 し、仲間に表現しな がら学習できていな い。
【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に学習活動に 取り組み、仲間と協力 しながら、役割を果 たし活動できているか。	学習活動、ゲー ムに取り組む 姿勢の観察	積極的に学習活動に 取り組み、仲間と協 力しながら役割を果 たし活動できている。	積極的に学習活動に 取り組み、仲間と協 力しながら、役割を 果たし活動すること が概ねできている。	積極的に学習活動に 取り組み、仲間と協 力しながら役割を果 たし活動できていな い。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	保健体育	科目	保健（１年）	学年	1	単位	1
教科書（出版社）	現代高等保健体育（大修館）						
副教材等（出版社）	現代高等保健体育ノート（大修館）						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自らの健康に関する知識を習得するとともに、健康増進を実践する技能を身につけていく。	健康に関する知識をもとに自分の健康を維持増進していくための行動・生活を実践していけるようにする。	健康に関する情報に興味関心を持ち、その内容を研究していける態度、実践する人間性を身につける。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	(1) 現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康	- 健康とは何かについて、過去概念も含めて学ぶ。 - 日本人の健康状態、日本の現在の問題点を知る。 - 生活習慣病の予防と回復について知る。 - がんの原因と予防法について学ぶ。 - がんの治療と回復についての知識を知る。 - 運動と健康に対しての効果について知る。 - 食事と健康に対する重要性について知る。 - 休養、睡眠の健康に対する重要性について知る。 - 喫煙の害について知る。	12
2	10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	- 飲酒の害について知る。 - 薬物の害、種類などについて理解する。 - 精神疾患の特徴について知る。 - 精神疾患の予防法について知る。 - 精神疾患からの回復の過程について知る。 - 現代の感染症について理解する。 - 感染症の予防法について知る。 - 性感染症、エイズについて理解する。 - 健康に関する意思決定、行動選択の大切さについて知る。 - 健康に関する社会の取り組みについて理解する。	15
3	(2) 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常生活な応急手当 6 心肺蘇生法	- 不慮の事故、災害の現状、発生要因について知る。 - 不慮の事故、災害に対する社会の対策について知る。 - 交通事故に対する社会の対策について知る。 - 応急手当の意義、基本技術について知る。 - 日常的に応急手当の方法について知る。 - 心肺蘇生法の意義、内容について知る。	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 健康に関する知識を理解し、情報に興味関心をもち、健康的な生活を送ることができるか。	テスト 授業内での発言 ノート提出評価	健康に関する知識を理解し、情報に興味関心をもち、健康的な生活を送ることができる。	健康に関する知識を理解し、情報に興味関心をもち、健康的な生活を送ることが概ねできている。	健康に関する知識を理解し、情報に興味関心をもち、健康的な生活を送ることができていない。
【思考力、判断力、表現力等】 健康に関する知識をもとにその原因を考え、自らの生活行動に適した方法で取り入れることができる。	授業内での発表・発言 ノート提出評価	健康に関する知識をもとにその原因を考え、自らの生活行動に適した方法で取り入れることができる。	健康に関する知識をもとにその原因を考え、自らの生活行動に適した方法で取り入れることが概ねできている。	健康に関する知識をもとにその原因を考え、自らの生活行動に適した方法で取り入れることができていない。
【学びに向かう力、人間性等】 健康に関する知識を得るために真剣に取り組み、それを生かそうと努力しているか。	ノート提出評価 授業内での発表内容等	健康に関する知識を得るために真剣に取り組み、それを生かそうと努力できている。	概ね健康に関する知識を得るために真剣に取り組み、それを生かそうと努力できている。	健康に関する知識を得るために真剣に取り組み、それを生かそうと努力する態度が不十分である。

※具体的な評価方法等

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	学年	1	単位	4
教科書(出版社)	COMET English Communication I (数研出版)						
副教材等(出版社)	COMET 基本文法定着ドリル1 (数研出版) Listening Trial Stage 0 (文英堂) フェイバリット英単語・熟語<テーマ別>コーパス 1800 3rd Edition (東京書籍)						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基本構造を理解し、簡単な英文を読んだり聞いたりして大まかな内容を理解できる。英語の基本文法を理解し、正しい用法を選択できる。	簡単な英語を用いて自分の考えを伝え、相手とやり取りすることができる。簡単な英文法を用いて自分の考えを短い英文で書いて表現できる。	積極的にコミュニケーション活動に参加している。積極的にワークシートに取り組んでいる。日常的に単語の学習をし、語彙力を向上させている。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	Lesson 1 What did you do in Japan? Lesson 2 When do you feel happy? Lesson 3 <i>Onigiri</i> goes overseas. Lesson 4 Pictograms	- 教科書の音読、発音練習により音声と綴りに慣れる練習をする。 - 英文を和訳し、代名詞が指すものを確認し、英文の意味を理解する練習をする。 - 時間やお金など生活に身近な英文を聞き、理解する練習をする。 - ALT・JET との TT を行い、発表活動や英会話を通して英語で表現する練習をする。 - スタディサプリ、基本文法定着ドリルを使用し、基礎的な文法事項の定着をさせる。 - コーパス 1800 や教科書の新出単語や英語表現を学習し、語彙力を高める。	48
2	Lesson 5 Morita Yuko: Hospital Facility dog handler Lesson 6 Convenience stores: Keys to their success Lesson 7 High school aquarium Lesson 8 Smart farming	- 教科書の音読、発音練習により音声と綴りに慣れる練習をする。 - 英文を和訳し、代名詞が指すものを確認し、英文の意味を理解する練習をする。 - 時間やお金など生活に身近な英文を聞き、理解する練習をする。 - ALT・JET との TT を行い、発表活動や英会話を通して英語で表現する練習をする。 - スタディサプリ、基本文法定着ドリルを使用し、基礎的な文法事項の定着をさせる。 - コーパス 1800 や教科書の新出単語や英語表現を学習し、語彙力を高める。	60
3	Lesson 9 Food waste Lesson 10 William and his windmill	- 教科書の音読、発音練習により音声と綴りに慣れる練習をする。 - 英文を和訳し、代名詞が指すものを確認し、英文の意味を理解する練習をする。 - 時間やお金など生活に身近な英文を聞き、理解する練習をする。 - ALT・JET との TT を行い、発表活動や英会話を通して英語で表現する練習をする。 - スタディサプリ、基本文法定着ドリルを使用し、基礎的な文法事項の定着をさせる。 - コーパス 1800 や教科書の新出単語や英語表現を学習し、語彙力を高める。	32

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 英語による情報や考えを聞いたり読んだりして、その情報や考えなどの概要をとらえ理解している。	考査の選択問題	生徒の達成度が 80%以上である。	生徒の達成度が 80%未満 50%以上である。	生徒の達成度が 50%未満である。
【思考力、判断力、表現力等】 英語でしかれた質問に対し、自分の考えを語順等に気を付けながら平易な英語を用いて伝えている。	考査の記述問題	生徒の達成度が 80%以上である。	生徒の達成度が 80%未満 50%以上である。	生徒の達成度が 50%未満である。
【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーション活動に参加している。意欲的に英語を練習し、単語の学習やプリントの書き込みを行っている。	授業態度 提出物 単語テスト 発表活動	生徒の達成度が 80%以上である。	生徒の達成度が 80%未満 50%以上である。	生徒の達成度が 50%未満である。